

## サイバーセキュリティ高度化に向けた連携組織 「CMS-CSIRT」の設立について

～「地銀共同センター・MEJAR システム・ワーキンググループ  
(CMS-WG)※1の取り組み【第二弾】～

池田泉州銀行（頭取CEO 鶴川 淳）は、勘定系システムの共同化グループの枠組みを超えたシステム運用の効率化を検討する「地銀共同センター・MEJAR システム・ワーキンググループ」（以下、「CMS-WG※1」）の取り組み第二弾として、サイバーセキュリティ分野での連携組織「CMS-CSIRT※2」を共同で設立しましたので、お知らせいたします。

昨今、金融業界を取り巻くサイバー関連の脅威は増しており、多くの地域金融機関はさらなるセキュリティ強化の必要性を認識しております。今回、地銀共同センター※3 および MEJAR※4 の参加行が協力し、サイバーセキュリティ態勢を一層強化するため、本組織を立ち上げることとしました。

CMS-CSIRT は、定例会等による交流を通じて、参加行のセキュリティ部門の関係構築を図るとともに、参加行のセキュリティ強化に資する情報提供や、セキュリティ担当者の能力向上に向けた勉強会を実施していきます。また、共同でのセキュリティ対応訓練や演習、参加行の共同での対策を目指した調査、検討なども実施していきます。

当行は、今後も引き続き、お客さまのニーズへお応えするため、利便性ならびにサービスの向上に取り組んでまいります。

### 記

#### 連携組織の概要

名称	CMS-CSIRT
活動内容	(1) セキュリティ部門の交流促進 (2) 参加者間の情報共有の促進 (3) 勉強会の開催 (4) 共同でのセキュリティ対応訓練や演習 (5) 共同でのセキュリティ対策実現を目指した調査・検討 など
メンバー	地銀共同センター全13行、MEJAR全6行、NTTデータ ※広島銀行は2030年度よりMEJARの共同利用を予定しています。

#### 地銀共同センター参加行（13行）



#### MEJAR参加行（6行）



- ※1 地銀共同センター・MEJAR システム・ワーキンググループ（CMS-WG）…システム関連で親和性のある両グループがそれぞれの強みを生かし、参加行共通の課題に対するシステム運用の効率化を検討する場。
- ※2 CMS-CSIRT…CSIRT（Computer Security Incident Response Team）は、一般的にセキュリティインシデント発生時の対応を行うチームと説明されますが、CMS-CSIRT では平時においてインシデントに備えるための、情報共有や担当者のスキル向上、セキュリティ対策の導入を活動内容としています。
- ※3 地銀共同センター…NTT データが構築・運営する、地方銀行・第二地方銀行向け基幹系共同センター。  
参加行は以下の通り（利用開始および銀行コード順）  
京都銀行、千葉興業銀行、岩手銀行、池田泉州銀行、愛知銀行、福井銀行、青森銀行、秋田銀行、四国銀行、鳥取銀行、西日本シティ銀行、大分銀行、山陰合同銀行
- ※4 MEJAR…NTT データが構築・銀行が主体で運営する、地方銀行・第二地方銀行向け基幹系共同センター。  
参加行は以下の通り（利用開始および銀行コード順）  
横浜銀行、北海道銀行、北陸銀行、七十七銀行、東日本銀行、広島銀行（2030 年度より共同利用予定）

<ご参考>CMS-WG の取組み

時期	取組内容
2021 年 11 月	地銀共同センター・MEJAR システム・ワーキンググループ（CMS-WG）発足
2022 年 5 月 （第一弾）	オンラインデータ連携基盤を活用した業務アプリの相互流通スキームを構築
2023 年 3 月 （本件）	サイバーセキュリティ高度化に向けた連携組織「CMS-CSIRT」設立

以 上